

皆様、こんにちは。日本維新の会、高谷浩司でございます。

会派を代表いたしまして、本委員会に付託されました令和5年度当初予算をはじめとする諸案件に対しまして意見表明を行ってまいります。

分科会審査や総括質疑、その他の関連で議論となった事業をはじめ、我が会派の政策、主張について意見、要望を述べてまいります。先輩議員、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご静聴いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、これより施策ごとに意見を述べさせていただきます。

はじめに、総合政策についてです。

内部統制の強化について

職員の資質向上及び内部統制の強化のため、何が問題なのか原因を分析して職員の意識改革を行い、組織体制を強化していくことを要望いたします。

地域の福社会館の使用について、総括質疑での答弁は、子どもから高齢者まで、多様な世代が集える身近な地域活動・交流の場、そして地域コミュニティ活性化のために必要であると考えているが、施設維持管理に対する助成は考えていないとのことでした。

地域にとって身近な福社会館は地域福祉活動をするうえで必要不可欠で、決してなくしてはいけない大切な拠点であり、近くの集会施設で代用できるものではありません。

地域の福社会館がなくなれば、町会組織による地域コミュニティの維持は極めて厳しくなると予想されます。町会組織を維持するためにも、地域と意見交換をしっかりと行い、双方が理想的な解決をするために、検討することを要望いたします。

大庄西中学校跡地活用等整備事業についてですが、本市の都合により、長期間放置し続けられた事から、地元からは不満の声が上がっています。早急に予算措置をし、1日でも早く南の口公園の再整備とふれあい体育館の建築をしていただきますようお願いいたします。

近年、多様化・複雑化している地域での問題・課題について、「地域とともにある職員研修」を実施し、解決する力を身につけた職員の育成と、資質を向上させるため強化策を図っていただきますよう要望いたします。

期日前投票所の増設についてですが、これまでの答弁と同様に設置場所の調査を続け、従事者の確保、当日の投票所とのバランス、費用対効果などを十分考慮するというご答弁ですが、積極的に増設していただき、投票率が向上する仕掛けの一つとして要望いたします。

広報についてです。ブランドブックや文化振興財団の動画等、せっかく良いものを作っても、認知度が向上しなければ意味がありません。著名 Youtuber や SNS 広告の活用なども視野に入れながら、認知を広げていく活動を展開していくことを要望いたします。

次に教育についてです。

尼崎高等学校の指定強化クラブに対する経費ですが、例年同額経費を支出するのではなく、必要などころに必要な経費を投資し、まずは学校内部でスクラップ&ビルドを浸透させなければと感じるところです。コーチングスタッフを揃えての技術指導も大切ですが、本当に大切な指導を重視した中で、決して勝利至上主義にならないようお願いいたします。

子どもたちの学力向上にむけた仕組みについて、
教育長のご答弁では、全国学力学習状況調査に全国平均を目指されるという決意を述べられていますが、目標達成までもう少しのところまで届いていますので、学力向上にかかる施策について積極的に予算を配分し、達成できるようお願いいたします。

児童生徒に配布されているタブレット端末の相談機能追加についてですが、
小中の学校長 14 人からご意見を聴いたという答弁ですが、肝心の教員や子どもたちに意見を聴かれたわけではありません。

子どもたちの取り巻く学校及び生活環境は、ご存じのとおり、いじめ問題、不登校など多難です。
まずは、教育現場に携わる現場の方々に直接意見を聴いていただきますようお願いいたします。

フリースクールを含む不登校児童・生徒や、生活困窮者の多様な学ぶ場を確保するための居場所の創出、そして、塾代や習い事の助成を行う場合は、財源の確保が大きな課題となりますが、いつまでも財源確保の問題といっている場合ではないと思いますので、親の経済格差が子どもの教育格差にならないように、学習支援事業の拡充を要望いたします。

インクルーシブな公園の整備について、遊具を導入することで、普段から多くの子どもたちがふれあい、体感できる環境を整備していくとのことですが、加えて特別教育支援員、生活介助員、特別支援ボランティアの増員と、みんながともに遊べるインクルーシブ公園の設置を要望いたします。

ユニチカ記念館について、尼崎の歴史を後世に残し、阪神タイガースの 2 軍球場の整備や阪神尼崎駅リニューアルに合わせ賑わいを生む施設になるような保存活用を要望いたします。

子どもたちの自殺問題について文部科学省の発表によると、昨年、小中高校生の自殺者は 512 人と過去最高でした。この現状に対して市長のご答弁でも深刻に受け止めていただき、問題意識を持っておられますが、子どもたちの命を守るため、教育委員会をはじめ他の部局とも連携しながら、それぞれの立場で子どもたちを見守る環境づくりに努めて頂くよう要望いたします。

次に健康福祉についてです。

保育園において、まだまだ待機児童の解消がされていないということから、保育園の増設を計画されていますが、少子化に突入し将来的展望が見えない中で法人保育園の設置を増やすのではなく、市立幼稚園で 3 年保育や認定子ども園など、市立幼稚園改革を行っていただき、また、法人保育園や私立幼稚園において、障がいや発達特性のあるなしに関わらず補助制度、法人園で受け入れられなかった場合は公立園での受入を拡充することを要望いたします。

そして、障がいや発達特性がある子どもの子育て支援体制の充実について、相談員の増員と、伊丹市や宝塚市のように療育に関する手引きを作成し、当事者に寄り添った療育の情報提供を行っていただきますようお願いいたします。

なお、直近の課題はご存じのとおり保育士の確保だと思います。保育士不足も解決しないままでの計画は無理があると思えません。

まずは、既設保育園の保育士が速やかに満たされることから解決していくことを要望いたします。

令和3年度末、本市の里親受託率40.9%で、子育てに協力したい里親課程でもうまくマッチングできない現状があります。

令和8年度、児童相談所の設置と同時に実親と暮らせない子どもの養育をする里親の啓発、里親制度を利用した子育てショートステイ事業の実施を要望いたします。

産前・産後ケア事業について、家族の支援が見込めない、母体の回復に不安があるお母さんが利用する、通所・宿泊事業への拡充、そして他市より多い10代の予定外妊娠をなくすため、ユース交流センター等に10代の性に特化した相談窓口「尼崎版ユースクリニックの創設」を要望いたします。

医療的ケア児を受け入れる体制づくりにおいて、本市でも着実に努力されておりますが、ハード面とソフト面の両面で受け入れ態勢を整え、誰ひとり取り残さないよう、安心して安全な環境で育まれるよう要望いたします。

子ども食堂の補助として、こども青少年課では「安定的・継続的な活動を支援するため、必要な経費を補助する」。健康増進課からは、食育の観点から「食材購入に対する補助」を行う予算になっておりますが、内容は違えども1団体が2行政に申請し補助を受けます。一つひとつの補助内容に問題はありませんが、横断的に協議して支援していないため、誰もがわかりやすいように1本化できるよう要望いたします。

次に、斎場についてです。火葬の待機時間が1週間程度になることがあり、市民に負担がかかっています。少子高齢化が進む我が国では、2040年に高齢者の死亡者数がピークを迎えるため今後その負担が加速することが懸念されます。友引を完全開放する、営業時間を増加させ、将来の対応を見越した対策、そして斎場予約システムの更なるデジタル化も要望いたします。

動物愛護について、

医療費は、平成30年に協議会にて一度話し合いを持たれていますが、その当時の基金の状況が飛躍的に増加され個体もマイクロチップ情報で管理出来る等、その時代とは状況が大きく変化しています。再度、寄附者に寄り添った協議を行う事を要望いたします。

次に経済環境企業についてです

あま咲きコインにつきまして、

加盟店数も1200店舗を超え使い勝手も良くなってきた一方で、約6,800店舗は未加入であり将来の運営についてはまだ見通しが立っていません。

物価高騰等の影響を踏まえた、事業者及び市民への経済的支援について、今後もあま咲きコインを活用していくのであれば、持続可能な運営ができるよう市民は勿論の事、事業者にも少しでもメリットを出してあま咲きコインが事業者の口コミでも広がるような仕組みの構築を行い、利用者に5%を還元するのではなく3%にして、2%を店舗に還元するなど、加盟店へのメリットを大きく増やすとともに、市民にとって利便性の高い決済能力を持たせるよう要望いたします。

「忍たま乱太郎」は来春で放送開始から30年となり、聖地としてまちを盛り上げようとする市民の動きが加速しています。登場人物の名前には尼崎の地名が多く使われ、観光地としてさらに盛り上げるため市をあげて取り組んでいただくことを要望します。

SDGsの取組に貢献出来るよう、脱炭素社会の実現に向けた着実な取組及び地球温暖化対策の推進について本市が率先して模範を示していただき、マイボトル普及促進事業についても、民間施設でのニーズも伺い普及を行っていただきたく思います。

公設地方卸売市場の今後の在り方について

現市場での建替えを行うなら、国からの交付金を活用せず、民間の力をお借りして、開場を目指すお考えであります。本市として「関西の食品等の物流拠点」を担う覚悟を持って運営を行うのかと、国からの交付金を活用しない事に本市の覚悟を感じず懐疑的になります。後々の市場以外の用途変更を行ったり、市内の真ん中に物流倉庫を本市が誘導する事は、今一度地元住民とも話し合いを行い、賑やかしがある、誰もが望む市場にする事を要望いたします。

モーターボート競走事業における新たなファン層の獲得及び収益向上に向けた取組について電話投票が好調である中、平均来場者が100人単位で年々減少しており、また来場したいと思える仕掛け作りも検討いただく事を要望いたします。

2025年大阪・関西万博についてです。「万博」には人とモノを呼び寄せる求心力と発信力があります。このチャンスを最大限に発揮するため、2023年度は兵庫県とも連携し、運河クルーズや道の駅的な施設等に加えて、より本市が活性化するような観光政策を検討していくことを要望いたします。また、尼崎フェニックス事業用地が万博の駐車場として使われることにより交通渋滞が懸念されるため、兵庫県と連携し道路の拡幅工事を滞りなく進め、より安全で快適な交通環境を整えていただきますようお願いいたします。

また、駅周辺の特徴あるまちづくりに取り組むにあたり、阪神沿線の各駅、小田南公園周辺や(仮称)武庫川周辺阪急新駅整備など、鉄道駅が交流やにぎわいの拠点であり、効果が目に見えて現れやすいことを市長は感じておられることから、特に阪神尼崎駅を中心とした尼崎城の観光支援を生かし、大阪・関西万博の開催も見据えた観光施策の推進について、観光入込客数を増加させ、市民の理解と協力を得て、相乗効果が生まれるよう、更に良いまちづくりをしていく事を要望いたします。

本市が一括買取に向けて取組んでいる旧かなみ地域について、早期に対応していただき、安心安全な地域になるよう、環境改善する事を要望いたします。

次に、建設消防防災についてです。

阪急園田駅に接続する園田豊中線は、地元の方々と都市整備局道路整備担当との丁寧な協議も進めていただき、やっと令和5年度中には、園田駅北側を、賑わいのある駅前空間に整備する事業に予算をつけていただいています。そして、令和6年度末には園田駅北側に道路がつながり、事業完了予定と聞いています、これからも地元の方々と丁寧に協議を進めていただき早期に事業完了していただきますよう、要望いたします。

園田西武庫線藻川工区の新藻川橋は、この度3月31日15時から橋の南側歩道だけを利用して人と自転車の通行が、出来るようになり、地元の皆様も喜ばれています、しかし、食満側の堤防は、自動車が通行しており、街灯は付けていただきましたが、全面開通しないと信号機は付けていただけないと聞いています、今後も、安全性を確保するため、全面開通を前に信号機の設置について、兵庫県と公安委員会に働きかけていただきますよう、要望いたします。

町会灯電気代支援事業について、

前年度から、LED化更新工事への助成をしていただき、そして、今年度は、町会灯の電気代の支援をしていただきます。4年にかけて約2000灯実施とのことですが、町会役員の皆様の高齢化が心配です、一日でも早く実施していただくことを要望いたします。

倒壊、景観、防犯面など、老朽化した空き家が周辺住民の住環境にもたらす影響は非常に深刻な事から、老朽危険空き家等の除去を促進する事を要望いたします。

歩きタバコや吸い殻のポイ捨ての禁止など喫煙に関するマナーの向上を主要事業として強化・拡充していかれますが、この4月から「自転車」でのヘルメット着用が努力義務化され、住民のマナー向上が求められます。

こうしたことから、「ごみ」等を含めた住民のマナーを更に向上する取り組みを強化することを要望いたします。

住まい・まちづくり推進事業について

アドバイザーボードでは、事業者から忌憚のないご意見をお伺いして、尼崎市の住宅事情が市民にとって変貌を遂げるような施策を引き出す事を要望いたします。

次に、消防についてです。団塊世代の大量退職に伴って、若手へ経験を引き継ぐことが急務となっておりますが、火災件数の減少により現場経験も減少してきています。近年大規模化・複雑化する災害に備え、西宮市や京都市のように、複合的な訓練ができる施設を検討していくことを要望いたします。

最後になりますが、市長・副市長の給与等について

次年度予算が、市長曰く、「瞬間的」に収支均衡を達成されました。しかしながら将来負担比率がまだ約1,000億円あり、近隣他都市では未だ最下位になっております。市長の公約でもある「子ども医療費の無償化」や、これから莫大な費用が掛かる公共施設や道路の更新等があります。我が会派は、本市の行財政改革は、まだまだ道半ばと考えます。そのような状況の中、尼崎市のトップとして行財政改革の姿勢を示すよう要望いたします。

どうか、松本市長におかれましては我が会派の意見・要望を市政に反映して、(尼崎市を住み続けたい町に発展させていただき)ますようお願い申し上げ、日本維新の会の意見表明とさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。